nutbalz

March 2025

特集　グローバル交流

ブルターニュ剣士 真冬の加子母にボンジュール!



SINCE 2005
Vol.239
monthly issue

1 More Issue



ブルターニュ剣士 真冬の 加子母にボンジュール！

また一緒に稽古しましょう。そう約束してから二年ちょっと。真冬の加子母での再会となりました。

仏剣士の寒稽古

ことの発端は二〇一九年夏にまで遡ります。とある御縁からフランスのブルターニュ州シャントピーにある「遊心館」から十三名が加子母を訪れて共に剣道の稽古を行いました。夏の加子母で「日本の田舎」を満喫して帰国しました。コロナ禍を経て二〇二三年冬。今度はご招待をいただいて加子母剣友会の十一名が渡仏し、「遊心館」やブルターニュ各地方の道場の剣士と剣を交えました。その後も交流が続いていましたが、初めて真冬（2/2～2/9）に二人の剣士がやってきました。加子母に来るのは二回目の師範のフランソワ・ボビネさんと会長のジェラルド・デルモットさんです。

ボビネさんは剣道場がなかったシャントピーで二十年以上前に「遊心館」を立ち上げて、多くの子どもたちを指導して、剣士たちを育ててきた経歴の方です。デルモットさんも大人になってから剣道を始めて四段に挑戦している情熱の持ち主。普段から週に三～四回の稽古を行っているそうです。フランスはヨーロッパの中では剣道が盛んな国ですが、もちろん日本のように稽古環境に恵まれているわけではありません。さらにパリのような大都会に比べても剣道人口が少ない中、八十名もの会員が在籍しているほど、熱心な活動を行っています。

お二人とも今年昇段審査に臨みたいとのことで、一週間の滞在中は毎晩稽古を行うという、まさに〝寒稽古〟となりました。加子母内での稽古のほかに下呂や中津市街の各稽古に参加して、最終日には加子母B&G海洋センターの道場に各地から六十名以上が集った大稽古会も行われました。どの稽古会でも多くの刺激を受けているようで、稽古後にはどんな学びがあったかを晩酌しながら熱く語っているのが印象的でした。

冬を楽しむ

ちょうど節分の頃だったので、加子母こども園の節分行事を見学へ行きました。保育園では子どもたちが鬼札を貼り、豆を用意して準備万端。そこへ現れた鬼に対して逃げ惑い泣きながらも豆を投げていました。それを見たボビネさんとデルモットさんはカルチャーショックを受けたとのこと。フランスでは子どもに怖い思いをさせることはＮＧだそうです。また、宗教分離の観点から公立の幼児園では伝統的な文化活動を教えることもできないということでした。子ども達に剣道を教えている二人からみると、怖い思いをしながら勇気を出して鬼に豆をぶつけるという行事は大事なことだと熱弁を振るっていたのが印象的でした。

稽古のほとんどが夜ということで日中は雪の奈良井宿、郡上、関ヶ原を観光しました。日本の歴史（特に戦国時代）や時代劇映画にとても詳しいお二人は、どこに行っても感じるものがあったようです。ブルターニュはあまり雪の降らない地域とのことで雪景色なのもお気に入り。朝ごはんを食べに行きがてらモーニング文化を学んだり、かまくらを作ったり、散歩したりと加子母の冬を満喫していました。

剣を交える

第二言語の英語と翻訳アプリを駆使してのコミュニケーションでしたが、稽古となれば言葉はいりません。剣士同士、剣道を通じて深い深いコミュニケーションを楽しんでいました。スポーツ少年団の稽古で指導してもらった子ども達にとっても、フランス人剣士に指導してもらえる貴重な体験となったことでしょう。ボビネさんが話してくれた「シャントピーの稽古では私のことを指導してくれる人にはほとんど出会えません。でも、加子母ではどの稽古に行ってもＳＥＮＳＥＩがいて教えてもらえる。本当に勉強になる」という言葉は、二つのことを求めて純粋に熱心に取り組んでいることが伝わってくるものでした。



またいつかお会いしましょう。

À bientôt !

（文・田中）

かしも通信文芸

俚謡正調　土に生きても世間の泥にや　染まぬ誓いの初詣

俚謡正調　しかと握った心のかじは　春の誘いにや負けはせぬ

俚謡正調　どこらあたりで落した櫛か　辿る夢路の初枕

田口 春娘

安江 湖水

田口 竹仙

Pet

わが家のPet!

小郷　熊崎リキくん 5才



ぼくは各務原で5匹兄弟で生まれて、加子母に来たよ。大好きなことは、近所の子どもたちに遊んでもらうこと。近くにスクールバス乗り場があるから、登下校の帰りにみんなに遊んでもらうんだ。散歩の途中で脱走した時に、近所の子が『リキー!!』と優しく呼んでくれたから止まれて、ご主人とおうちに帰れたよ。

高くジャンプするのがめっちゃ得意で元気だよ!　りえ

Event

明治座に集う楽しさ～絵本朗読会

加子母でも久しぶりの大雪が降った週、2月8日の夜、明治座で「絵本ひとつの火朗読会」が開催されました。

やはりとっても寒い夜でしたが、明治座の舞台いっぱいに投影した絵は迫力があり、小郷の今井梓沙さんの朗読はとても素敵で、絵本の世界をより豊かに感じさせてくれました。雪道の中集まってくれたお客さんは加子母の人ばかりでとてもアットホームな雰囲気。終わった後も絵本の話をしたり楽しい時間を過ごしました。

実現には支えてくれた皆の力がありました。地域おこし協力隊の皆が、寒さ対策に紙発砲スチロールとホットカーペットを使った枡席型のスペースを作ってくれました。絵を投影するためのデータ作り、プロジェクターを使ったリハーサル、音響や照明、駐車場の雪かきなど、大勢の人が手伝ってくれました。誰かの「やりたい」を形にするために力を貸してくれる。そういうところが加子母の良いところだなぁと改めて実感しました。

小さなことでも明治座に集ってあれこれやってみることの楽しさ。これこそが明治座の原点なんじゃないかな。

（文責本間）

Concert

MEIJIZA CLASSIC CONCERT SINCE 1998

田中千香士音楽祭／第25回明治座クラシックコンサート

2025年4月　12日(土)17:00開演（16:00開場）

13日(日)13:00開演（12:00開場）

かしも明治座　指揮・ヴァイオリン：**白井 圭**

演奏:レボリューションアンサンブル（42名）

ベートーヴェン／レオノーレ序曲第3番 作品72b

メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

ブラームス／交響曲第3番 ヘ長調 作品90

一 般:3,000円　高校生以下:1,000円　※未就学児の入場はご遠慮下さい。

チケット好評発売中！

加子母総合事務所

Tel0573-79-2111



Field

小郷の畑から～なかよし家族　丹羽泰子



今年の雪、参りましたね。小郷はまだ道路の端によけた雪が塊になって凍っています。畑や田んぼは真っ白。玉ねぎは毎年、凍って溶けてを繰り返すと、土が持ち上がるので、抜けてしまう苗がたくさんありますが、今年は雪の布団の下で、ぬくぬくしているかもしれませんね。ハウスの中でビニールのトンネルをしているほうれん草が、とても時間をかけて育っています。肥料も無しなので、売っているもののようには大きくならないのだけれど、甘くて美味しい。

以前に書いたキャベツはしっかり巻いてきました‼うれし～バケツで玄関内で育てようとした、さつまいもの苗は、年末年始から1月にかけて長期で留守にしたからか、寒さで枯れてしまいました（涙）うまく行ったりいかなかったり、ずっとそれを繰り返していますが、今年もまた懲りずに春が待ち遠しくて、とても楽しみ。今年はどうなるかなあ?

Note

キヅキノート　佐野智哉



息子は、冬になるまで毎日のように蝶々を採集していましたが、寒い間は採集も休憩中。その間は、昆虫や鉱物などの博物館へ訪れ、気を紛らわしています。蝶々が再び舞い始めるようになったら、息子は飛んで喜ぶことでしょう。博物館では、世界各地の見たこともない大きな蝶や色とりどりな蝶がズラッと展示してありますが、その中でも好きなものは、いつも見ているモンシロチョウやヒョウモンチョウ。ただ、その展示の中で唯一、見たことのないギフチョウには興味があったようです。今年はギフチョウを求めて旅に出ることが習慣になりそうです。

そんなこんなでやっぱり寒いのは嫌なので、春が来るのを首を長くして待っているのでした。

Editor's Note

編集後記／秦雅文

今年は明治座クラシックコンサートは25回目を迎えます。
今年のブラームスの交響曲第3番は陰影と明るさが交錯する複雑な性格の交響曲で、第3楽章はとてもロマンティックで切ない美しさがあり、映画などで使われているので一般にも知られています。
ブラームスは2018年の第20回の時に交響曲第2番をやって以来の登場です。
オーケストラもそれ以来の大規模編成で行います。指揮はもちろん白井圭氏ですが、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲では白井さんの演奏を聴けます。この曲も聞き馴染みのある曲なので、白井圭の演奏でこの曲を聴けるのは待ち遠しいです。
今年のコンサートは聞き逃せませんよ。
26年続く明治座クラシックコンサートは演奏者の間でも評判で、毎年参加したいという方が増えていると聞きます。今回は所属しているオケの大事な定期演奏会があり参加が難しい方がいたのですが本人の強い希望で、例外として有意義な音楽祭への参加として認められたそうです。
明治座クラシックコンサートが特別の許可のおりる演奏会になったという証でもあります。
ますます楽しみです!

かしも通信
2025年2月25日発行 No.239

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Ichihashi Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Niwa Junichi
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko

Cooking

かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介！色には文化があらわれる

塩漬け渋柿

大雪で食べる物がなく、物価は高い。お菓子、果物を買う事を控える。そんな話を友達にしたら、柿を出してくれた。初めて食べた。子供の頃から食べていたそうです。塩からいけど、果物。氷っている中に手を入れて出すそうだ。つぶれてない。不思議。昔の人の知恵に出会えた料理(?)に超感激をしました。

2016年4月号からかしも食堂が始まり67回目です。色々な方にご協力をいただき感謝してます。加子母に伝わる絶品料理を100年先まで伝えたい。食に文化がある。一杯話したいし想いもあります。今回で閉店しますがまた開店したいです。





加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井三月 ☎ 0573-79-2627

小郷 けいちゃんの
こざと
お持ち帰りも好評です!
Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン
(一財)岐阜県消防設備協会会員
消火器の点検、販売、
廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の
訪問販売にご注意を!
Tel.**79-2285**
消火器

Child of Kashimo

かしもっ子だよ全員集合！

加子母中学校

一人一人の思いを伝い合えた立志式

2月7日(金)大雪の中、たくさんの地域の方に来校していただき、加子母中学校立志式を行いました。それぞれの学年の生徒が、これからの生き方への意欲と決意を語りました。

3年生は3年間の自分自身を振り返り、前向きな気持ちと行動できない自分への怒りや、葛藤、それを乗り越えた時の達成感や少々の後悔などを、自分にしか言えない言葉で語りました。また、将来の夢や希望、卒業後の決意や生き方について1，2年生にとって道しるべとなる貴重な思いを残しました。

2年生は「最高学年」を迎えるにあたり、登龍門である立志式の運営を行いました。会の運営、その準備は想像していたよりはるかに大変でしたが、気づいて自分から行動できる2年生の強みを生かし、見事に会を成功させることができました。また、これまで学校生活や行事の運営を行ってきた3年生の見方が変わりました。

1年生は「新入生半日入学」を成功させ、加中生としての自覚と、先輩になる覚悟を固めました。立志式の発表はもちろん、2年生の準備する姿を見て、自分もできることがないか考えたり、行動したりすることができました。新入生に憧れられる先輩になろうと、日常の授業、合唱も頑張っています。

残り十数日で卒業式です。このメンバーでの生活を大切に過ごしていきます。







加子母こども園

節分

2月3日(月)は加子母こども園の節分でした。

いつもは園庭に出てみんなで豆まきをするのですが、この日はあいにくの雨…。

それでも準備してきた「鬼札」を部屋の前にはり、作った鬼のお面とマスクを持って準備万端！雨ということで各クラスの部屋に鬼が現れて、豆をまきました。
鬼が登場すると慌てて豆を投げる子ども達。始めは部屋の中を逃げ回り、泣いていた子ども達も「おには そと！」「ふくは うち！」と大きな掛け声とともに一生懸命豆をまきました。今年は「お腹の中の鬼(自分の直したい短所)」をカードに書いて、鬼に持っていってもらう取り組みもやりました。子ども達の投げる豆が無くなった頃、みんなで部屋の真ん中に集まって、恐々と鬼に近づき、袋の中にカードを入れました。最後は鬼とタッチや握手をしてもらい、記念撮影をすると鬼も山へ帰っていきました。

子ども達がカードに書いた「お腹の中の鬼」も鬼と一緒に行ってしまったので、その日は「お片付けしん鬼 追い出したから、お片付けできるよ」「何でも食べる約束したから 食べられるよ」と、鬼との約束を思い出しながら過ごす子ども達でした。



【加子母・付知子育て支援センター くるりんぱ】
自由にあそべるスペースです。体を動かしたり、季節を感じるイベントも行っています。
カレンダーやイベントの詳細はLINEまたはインスタをチェックしてくださいネ!!
インスタは「くるりんぱ」で検索をお願いします。

3月の行事予定

1	土	
2	日	
3	月	【こども園】交通安全教室 【中学校】PTAあいさつ運動 【中学校】委員会
4	火	【こども園】身体測定 【中学校】PTA本部役員会
5	水	6か月児相談（福岡保健センター） 【こども園】誕生会・節句会 【中学校】岐阜県公立高校第一次選抜検査
6	木	BCG予防接種（福岡保健センター） 【こども園】避難訓練
7	金	市・県民税申告受付（午前9～12/午後13～16） 【中学校】卒業証書授与式
8	土	
9	日	大型・有害ごみ（9～13）
10	月	市・県民税申告受付（午前9～12/午後13～16） 乳幼児個別相談（付知福祉センター）
11	火	市・県民税申告受付（午前9～12/午後13～16）
12	水	
13	木	3歳児健診（福岡保健センター） 【こども園】お別れ会
14	金	【中学校】栄養職員による食育指導 【中学校】第一次選抜検査合格発表
15	土	
16	日	不燃・硬質・資源ごみ（16～17） 家庭の日
17	月	
18	火	【中学校】令和7年度前期生徒会選挙
19	水	
20	木	春分の日
21	金	【中学校】岐阜県公立高校第二次選抜検査
22	土	
23	日	
24	月	農事改良組合長会（19:30～） 【小学校】卒業式
25	火	区長会（14～） 人権相談（13～15） 【こども園】卒園式 【小学校】修了式 【中学校】修了式 離任式 【中学校】第二次選抜検査合格発表
26	水	【こども園】修了式
27	木	【こども園】1号認定春休み
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

こちら**総合事務所**です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。
みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。　(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

田中千香士音楽祭　第25回明治座クラシックコンサート

かしも明治座で桟敷に座って聴くクラシックコンサート。芝居小屋ならではの舞台と客席との一体感を感じてみませんか。

【日時】令和7年**4月12日**（土）17:00開演（16:00開場）、**13日**（日）13:00開演（12:00開場）

【チケット】一般:3,000円、高校生以下:1,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください

【チケットの取り扱い】

①明治座クラシックコンサート実行委員会事務局（加子母総合事務所内）
　電話でのチケット予約を受け付けています。

②チケットぴあ　https://t.pia.jp

（Pコード:291814）

お問合せ:明治座クラシックコンサート実行委員会事務局（加子母総合事務所内）TEL 0573-79-2111

令和7年度中津川市選奨生募集

中津川市では、進学の意欲と能力がありながら、経済的理由で修学が困難な学生に対し、奨学資金の貸付けを実施します。申請書の様式は、総合事務所窓口で配布、または市ホームページからもダウンロードできます。

【応募締切】令和7年4月4日（金）まで

【提出先】中津川市教育委員会教育企画課　または総合事務所

詳しくは、市ホームページをご参照ください。ホームページはこちら⇒

・お問合せ:教育企画課TEL 0573-66-1111（内線4216）、加子母総合事務所

図書室だより

【3月おすすめ図書】

加子母図書室に新刊が続々と入荷しています。ぜひお越しください。

■明治座　SINCE 1893　発行:かしも通信

明治座創建130年を迎え、1893年からの明治座の歩みが1冊になりました。わたしたちの身近にある芝居小屋「明治座」の歴史を深く感じてみませんか?

■小鳥とリムジン　著:小川　糸

主人公“小鳥”のささやかな楽しみは、仕事の帰り道に灯りのともったお弁当屋さんから漂うおいしそうなにおいをかぐこと。人と接することが得意ではない小鳥は、心惹かれつつも長らくお店のドアを開けられずにいたが…。自らの心と体を取り戻す、いとおしい物語。

■108歳の現役理容師おばあちゃんごきげん暮らしの知恵袋　著:箱石シツイ

理容師歴94年、世界最高齢の現役理容師に認定された108歳のおばあちゃん。壮絶な人生を乗り越えてきた秘訣とは?30年愛飲するお茶や、その日を投げ出さないで懸命に生きることなど、人生100年時代を楽しく生きるヒントが詰まった1冊です。

■れいぞうこのかみさま　絵/作:うえだしげこ

冷蔵庫に暮らす食べ物たちの活躍を描く、大人気の〝れいぞうこあるあるシリーズ〟。
かわいい食べ物たちによる、かわいいストーリーの絵本です。

加子母の人口と世帯数（令和7年2月1日現在）
世帯数:944世帯　男:1,146人　女:1,182人　計:2,328人